

巻 頭 言



兵庫県知事 井戸 敏三

世界の中で個性輝く兵庫創生

世界は今、時代の大きな変革期を迎えています。貿易の自由化をめざす経済枠組みの拡大、急速な情報通信技術ICTの発達など、国際社会の一体化が進行し、人、モノ、情報の往来もますます活発化しています。

世界化が進む今だからこそ、地域は、全体の中に埋没することなく、その個性を明確にして、世界の中で独自性を発揮していかなければなりません。

昨年、本県は「兵庫地域創生戦略」を策定しました。その推進には、世界との活発な交流が欠かせません。めざすは、地域の個性や強みを活かした「兵庫の世界化」。

その一つは、海外市場を取り込む「食」のブランド戦略です。

摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国からなる兵庫。その個性豊かな地域には、世界に誇る神戸ビーフ、日本一の酒米 山田錦、淡路島たまねぎ、丹波黒大豆、明石鯛など最高の食材があふれています。

昨年のイタリア「ミラノ国際博覧会」では、ヨーロッパを代表するハイクラスゲストをレセプションに迎え、神戸ビーフなど最高級の食材を使ったトップシェフによる匠の料理や、淡路人形浄瑠璃、古式四條流包丁式など、伝統的で芸術的な“食の世界”を演出し、兵庫ブランド製品の輸出拡大に向けて高い評価をいただきました。

そして、戦略的なインバウンド対策です。

昨年、本県を訪れた外国人観光客は2年間でほぼ倍増の約128万人と過去最高を記録。世界遺産・姫路城、雲海の竹田城、歴史情緒あふれる城崎・有馬温泉など多彩な観光資源に多くの外国人観光客が訪れました。

また、観光庁の「広域観光周遊ルート」に、日本の精神性や美をテーマに関西を巡る「美の伝説」、西日本の新たな魅力を届ける「せとうち・海の道」が認定されたほか、関西広域連合での海外プロモーションにも力を注ぐなど府県を越えた連携も広がっています。

今後、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック、関西ワールドマスタースゲームズなど世界的なビッグイベントが続くなか、積極的なツーリズムを展開し世界の人々を呼び込みます。

さらには、産業力を活かした県内企業の海外展開にも取り組みます。

本県には、大型放射光施設「SPring-8」、スパコン「京」など世界有数の科学技術基盤をはじめ、高い技術力を持つ企業や大学、研究機関が集積し、活力あるものづくり拠点が形成されています。

今後、航空機、ロボット、環境・エネルギー、先端医療など次世代産業の育成や、世界に通用するオンリーワン企業の育成などを推進するとともに、世界12か所に展開するひょうご国際ビジネスサポートデスクや海外事務所等を通じて県内企業の国際展開を支援していきます。

兵庫は、明治初年に世界への扉を開いた神戸港を中心に発展し、わが国の国際化、近代化の先駆けとなってきました。折しも、来年は神戸開港150年の節目を迎えます。経済の世界化が進む今、歴史ある国際交流の積み重ねや地域の多様性など、本県の特性を最大限に活かしながら、世界の中の兵庫にさらに磨きをかけていきます。